

群馬の畜産 みんなの情報室



発行：公益社団法人 群馬県畜産協会

〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル3階/TEL：027-220-2371（代）FAX：027-220-2372

ホームページ：https://www.chikusankyokai.or.jp

1page	理事会の開催 (令和3年度事業計画、収支予算)	10page	価格安定事業の状況
		12page	南関東4競馬場開催日程
8page	家畜防疫互助基金支援事業について 畜産海外事情研修(EU3か国)に参加して⑤		

第43回理事会が開催されました

令和3年3月12日(金)群馬県JAビルに於いて、本会理事会が開催され、令和3年度事業計画等について協議されました。決議事項、報告事項は次のとおりです。

【決議事項】

- 第1号議案 令和3年度事業計画及び収支予算案の承認について
- 第2号議案 規程の改正について
- 第3号議案 育児介護休業等に関する規則の改正について
- 第4号議案 役員報酬規程の改正について

【報告事項】

- (1)職務執行状況について
- (2)正会員の退会について
- (3)賛助会員の入会について

令和3年度事業計画

令和2年度は、新型コロナウイルスの蔓延防止を図るため、国内初の緊急事態宣言が発令されたことに始まりしました。

移動自粛制限による外食、観光、インバウンドの落ち込みによる畜産物需要の低迷の影響を受けた肉用牛価格の下落、及び児童、生徒の自宅待機による学校給食中止等による牛乳需要の低下が見られました。このような中で畜産業は、巣ごもり需要に支えられながらも経済活動の低下による影響を受けました。

また、これまで豚熱(CSF)が、全国で11県62事例の発生があり、約18万頭余が殺処分されるに至ったほか、近隣国ではアフリカ豚熱(ASF)の発生も引き続き確認されており余談を許さない状況が続きました。さらに、高病原性鳥インフルエンザは全国で51事例が発生し、さらに1千万羽近くが殺処分されています。

本県の、県央及び東毛地区では、豚や牛の盗難被害が確認され、報道によれば、10戸で700頭弱の被害があったと報じられ、県から、防疫措置を踏まえた防犯措置を講じるよう指導があるなど、令和2年度は、畜産業にとって、経済面や家畜防疫面で大変厳しい年となりました。

一方、畜産物の輸出を見ますと、2012年以降毎年増加し、昨年は595億円となり、2030年目標の12.6%を達成したとみられています。特に、輸出額の56%を占める牛肉の生産を拡大するため、国による和牛の増頭・増産に対する事業が実施されています。

今後も、安全で安心な畜産物を求める海外からのニーズに支えられ、JAPANブランドの畜産物輸出は、ますます増加していくものと見られています。

これらの状況を踏まえ、当協会では、畜産物の価格安定、家畜衛生、経営支援、家畜改良、担い手の確保育成の5つの機能について、畜産の専門機関として、畜種ごとに有機的な情報活用を図り、高い次元で対応する事務局体制を構築し、大規模法人経営、特色のある経営など、多様化する畜産経営に合った専門性の高いサービスを提供できる職員の育成を図るとともに、本県の畜産経営の安定向上と安全で良質な畜産物の生産に貢献し、国民生活に不可欠な食料の安定的な供給に寄与して参ります。

また、今後の国際化に対応する畜産経営を確立するため、国、県、中央団体等の実施する経営支援、価格安定対策等の補助事業、助成事業、受託事業等を積極的に活用するとともに、各種ニーズに応えるための事業を自主事業として実施する等により県内畜産農家を強力に支援して参ります。

さらに、畜産物の安全安心を確保するため、家畜や農場の衛生対策、及び家畜の生産性向上対策、畜産への理解醸成など幅広い事業に取り組むと共に、また、これまで継続してきた事務の合理化や経費抑制についても引き続き実施して参ります。

なお、本計画にない新規取り組みについては、本会の事業目的に合致するものや、社会的情勢の変化などにより喫緊の対応が求められる場合については、事業計画に支障のない範囲において取り組むこといたします。

.....

2. 事業計画

【公益事業1】 畜産経営の安定向上を支援し安全で良質な畜産物の生産を促進する事業

(1) 畜産経営の安定を支援する事業

ア 肉用子牛の生産の安定に関する支援

肉用牛肥育経営への子牛の安定供給を進め、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、当協会と補給金の交付契約を締結した肉用牛繁殖経営者に対し、子牛の販売価格が国の定める基準価格を下回った場合に、その差額を補給金として交付します。

また、昨年度、実施された肉用子牛の飼養頭数を維持することを目的に経営改善を図る事業（優良肉用子牛生産推進緊急対策事業）については、奨励金の未交付分について奨励金を交付します。

【実施予定事業数：2事業】

イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援

肉用牛肥育経営の安定を図ることにより、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、肥育牛補てん金交付契約を締結した登録生産者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の調査により算出される肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が、同じく算出される標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付します。また同制度等の事務推進を行います。

また、経営体質強化を図る肥育経営体に対して、出荷頭数に応じて奨励金を交付します。

【実施予定事業数：3事業】

	事業名	種別	事業内容
1	肉用子牛生産者補給金制度	補助	販売又は自家保留された肉用子牛に対し、四半期ごとの平均売買価格が保証基準価格を下回った場合の差額の全額、また平均売買価格が合理化目標価格を下回った場合の差額の9/10を補給金として交付する。 肉用子牛生産者補給金制度の運営体制を維持するために必要な事務を実施する。
2	優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（前年度繰越）	補助	肉用子牛の全国平均価格が発動基準価格を下回った場合に、肉用子牛の飼養頭数を維持することを目的として経営改善を図る肉用子牛生産者に対して奨励金を交付する。

	事業名	種別	事業内容
3	肉用牛肥育経営安定交付金制度	受託	肉用肥育牛経営の標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付する。
4	価格安定推進支援事業	自主	肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度について、円滑な運営を行うための支援を行う。
5	肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援）	受託	経営体質強化を図る肥育経営体に対して出荷頭数に応じて奨励金を交付する。

ウ 養豚経営の安定に関する支援

養豚経営の安定を図ることにより、国産豚肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、制度に登録した登録生産者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の調査により算出される肉豚1頭当たりの標準的販売価格が、標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付する制度を推進します。

また、肉豚経営安定交付金制度登録生産者からの委託により、同制度等の事務推進を行います。

【実施予定事業数：2事業】

	事業名	種別	事業内容
6	肉豚経営安定交付金制度	受託	農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度に係る事業説明会の開催、及び事業関係者からの照会対応・連絡調整等の事務を実施する。
7	肉豚経営安定交付金制度推進事業（生産者事務受託）	生産者事務受託	肉豚経営安定交付金制度登録生産者からの委託により、書類の作成支援や農畜産業振興機構からの照会、問い合わせ対応等の事務を実施する。

2) 畜産経営の向上を支援する事業

ア 地域の畜産経営への支援指導

畜産経営の高度化に必要な情報の提供や経営分析による指導、個人・法人等の多様なニーズに対応した経営指導を行います。

また、既往負債の長期・低利な資金への借り換え計画作成とその計画達成のための指導、資金借入を希望する畜産経営体の経営ビジョンや経営計画作成、畜産女性経営者の育成、収益性・生産性を向上、労働時間の短縮を図るための機械導入等を支援するとともに、生産物の品質向上、生産情報管理・分析について指導します。

さらに、畜産経営者の経営実績の収集、経営指導活動の成果を把握するための調査、優れた畜産経営者や畜産振興に貢献している団体等の調査を行い、その結果の周知・普及を図ります。

【実施予定事業数：19事業】

	事業名	種別	事業内容
8	地域畜産支援指導等体制強化事業	補助	畜産経営の高度化に必要な情報の提供や多様なニーズに対応した経営指導、一般消費者への畜産に対する理解醸成のための活動を行うほか、馬事の振興等の畜産業を振興するための活動を実施する。
9	経営流通対策事業（経営指導推進）	補助	畜産農家に対する経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成指導、畜産経営の高度化に必要な情報の提供等による経営支援を実施する。

	事業名	種別	事業内容
10	畜産特別資金等推進指導事業	補助	畜産特別資金借受者の経営の改善及び安定を図るため、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導、並びに新規借受者の経営改善計画の作成指導を実施する。
11	畜産クラスター機械導入事業	受託	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策（畜産クラスター）事業の機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、参加要望申請書の取りまとめ、及び事務推進等の支援を実施する。
12	畜産クラスター全国実態調査事業	受託	優良な経営管理技術を有する経営体の経営成果等を調査し、課題解決に取り組む経営情報として情報提供する。
13	畜産クラスター家畜生産性向上対策事業	受託	家畜生産性に係るデータ収集と生産性向上のためのデータ分析等を実施する。
14	酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	受託	労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化を図る機械装置の導入並びに当該機械装置と一体的な施設の整備を実施する。
15	畜産経営体生産性向上対策事業	受託	酪農及び肉用牛経営が飼養管理技術の高度化並びに省力化に資するため、畜産ICT機器等先端技術の活用によって、一定労働時間削減を図り、もって家族経営が将来に展望の持てる経営継続への支援を実施する。
16	畜産関係団体調整機能強化事業	受託	生産者等からの各種相談に応じるため、経営支援および経営支援を実施するための団体運営に係る技術、知識等のスキルアップを図る。
17	貸付事業指導等事業	受託	畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等について保守管理及び適正な使用に関する指導を実施する。
18	畜産高度化支援リース事業	受託	畜産高度化支援リース事業のリース物件について、その貸付申請、検収実施及び指導等を実施する。
19	鶏卵生産者経営安定対策事業	受託	群馬県養鶏協会会員以外を対象に鶏卵生産者経営安定対策事業の報告書類、生産者積立の状況管理、羽数確認の現地調査等の事務を行う。
20	畜産経営支援指導事業	自主	畜産農家に対する技術指導等を実施し経営支援を実施する。
21	公共牧場活性化支援事業	自主	公共牧場及び関係者を対象に、牧場管理等に関する研修会を開催する。
22	畜産環境保全支援事業	自主	堆肥や副資材の生産者の情報をHPに掲載するとともに、研修会を開催する。
23	畜産協会情報提供事業	自主	畜産業に有用な情報等を収集し、情報誌として生産者、関係団体等に配布するとともに、本ホームページ等を活用し広く情報提供する。
24	豚枝肉格付分析情報提供事業	自主	豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供し、肉豚生産者の生産活動を支援する。
25	経営セミナー事業	自主	畜産経営者等に対して高度化技術等の情報を取得するための講習会等を開催する。
26	女子力発揮支援事業	自主	畜産女性経営者を対象に、各種勉強会を開催し、各経営者が抱える課題の抽出及びその改善を支援する。

イ 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する支援

獣医学を専攻する大学生に対し、卒業後、群馬県内で産業動物獣医師として従事することを条件に、修学のための資金を給付します。

また、酪農ヘルパー利用組合が雇用等により確保している要員の確保・育成に必要な費用の一部補助、酪農従事者が病気、けが等により就業困難となってヘルパー利用が増加した場合の負担額の軽減のための互助基金の造成とその活用、ヘルパーの活動によって発生した財物の破損等を賠償する保険への加入促進と保険料の一部を補助します。

さらに、経営者の高齢化等により継続が困難となる経営の第三者継承への支援、大規模化により支援雇用江尾必要としている酪農経営を含む畜産経営に対して、人材確保のための職業紹介や募集に必要な支援および人員育成のための支援を行います

【実施予定事業数:8 事業】

	事業名	種別	事業内容
27	獣医師養成確保修学資金給付事業	補助	群馬県内で産業動物獣医師になることを希望する獣医学生に対し修学資金を給付する。
28	酪農経営安定化支援ヘルパー事業（酪農経営支援総合対策事業）【組合分】	補助	酪農ヘルパー利用組合の経営安定化の推進を図る事業を実施する。
29	酪農経営安定化支援ヘルパー事業（酪農経営支援総合対策事業）【協会分】	補助	酪農ヘルパー事業の経営安定化の推進を図る事業を実施する。
30	酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業	補助	酪農ヘルパー利用組合に加入する酪農従事者の病気等により利用されたヘルパー利用料の負担を軽減するため、互助基金を造成し互助見舞金を交付する。
31	酪農ヘルパー労働環境整備事業	補助	酪農ヘルパーの出役中の事故等に備えるため賠償責任保険、並びに臨時ヘルパー傷害保険に加入する。
32	酪農ヘルパー事業円滑化支援事業	特別	酪農ヘルパー利用組合の運営、要員確保・育成等に必要経費を補助する。
33	畜産人材確保育成事業	自主	畜産農家の雇用、新規参入、継承促進のための相談対応、広報啓発活動を実施する。
34	畜産生産体制支援事業	自主	畜産農家の生産活動を支援する体制（ヘルパー体制）を整備し畜産業の振興に寄与する。

（3）家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

ア 畜産及び畜産物への理解醸成

消費者を対象にした畜産及び畜産物に関する研修会や体験交流会の開催、イベントにおける畜産物の栄養知識に関する啓発資料の作成・配布及び畜産物の無償配布、畜産堆肥の有機質肥料としての有用性に関する啓発資料の作成・配布などを通じて消費者の畜産への理解醸成及びリスクコミュニケーション確保のための活動を行います。

また、畜産の振興を担う地方競馬場において冠レースを開催し、畜産への理解醸成を図ります。

【実施予定事業数：5 事業】

	事業名	種別	事業内容
35	生産振興対策事業（県産鶏卵販売強化）	補助	銘柄卵の啓発資料を作成し、県産銘柄卵を含む鶏卵の消費拡大を図る。
36	地方競馬支援対策事業	自主	地方競馬の振興を図るため、競馬場において冠レースを実施する。
37	畜産普及啓発推進事業	自主	一般消費者を対象に、関係資料等の配布を行い、畜産への理解と醸成を深める。
38	牧場体験交流事業	自主	一般消費者を対象に、牧場等において、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験交流を実施する。
39	群馬の堆肥普及事業	自主	一般消費者を対象に、畜産堆肥の有用性に関する啓発資料の配布を行う。

イ 家畜及び畜産物の安全性確保

伝達性牛海綿状脳症（ＢＳＥ）に罹患した牛を確実に食肉流通から隔離することを目的に、死亡した牛の収集、輸送、検査、処理に必要な費用への補助、食肉処理場等における特定危険部位の除去確認に要する費用に対し促進費を助成します。

また、食肉処理事業者に対し、特定危険部位の適正管理の促進を図ります。

【実施予定事業数：2 事業】

	事業名	種別	事業内容
40	牛疾病検査円滑化推進対策事業	補助	特定症状牛等の要件を満たす死亡牛のＢＳＥ検査に要する運賃、検査料を補助する。
41	牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務	受託	特定危険部位である牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を実施する。

ウ 家畜の悪性疾病による損失対策

重要で悪性の家畜伝染病など、指定する疾病が発生した場合に、飼養する乳牛、肉牛、豚の淘汰した後、経営の再建を図ることを目的に、畜産経営者に対して事業内容の周知、事業への参加の呼びかけ、事業への参加手続等を支援します。

【実施予定事業数：1事業】

事業名	種別	事業内容
42 家畜防疫互助基金支援事業	補助	家畜の伝染病のうち、口蹄疫、牛疫、牛肺疫、ASF、CSFが発生した場合に、経営再開までに必要な経費を生産者が相互に支援する全国的な仕組みについて、生産者等に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施する。

エ 農場の生産衛生の強化

清浄化が難しく伝播力が強い個体別経営の取り組みだけでは十分な効果が得られにくい牛豚の伝染性疾病等の発生・流行を防止して畜産物生産の安定を図ることを目的に、検査、予防接種、生産衛生の強化に必要な費用の一部、及び県内種鶏場等の衛生管理向上のために検査経費の一部を補助します。

なお、豚熱（CSF）対策として野生イノシシへの経口ワクチン野外散布のための協議会運営事業を実施するほか、令和2年度に実施されたASF侵入防止緊急支援事業について、整備施設の利用・管理状況等についてのフォローアップを行います。

【実施予定事業数：4事業】

事業名	種別	事業内容
43 家畜生産農場衛生対策事業	補助	次の対策について費用の一部を補助する。 ①ヨーネ病対策に係る牛の自主とう汰 ②EBL対策に係る農場の検査および吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止のための資材購入、高度感染牛のとう汰 ③BVD対策に係る検査およびPI牛の自主とう汰、ワクチン接種 ④牛豚飼養農場の飼養衛生管理基準に基づいた衛生指導に必要な費用
44 群馬県CSF経口ワクチン対策協議会運営事業	受託	豚熱（CSF）対策として野生イノシシへの経口ワクチン野外散布のための協議会運営をおこなう。
45 群馬県種鶏場等衛生対策事業	自主	県内種鶏場等の衛生管理向上を図ることにより、本県の養鶏振興に寄与する。
46 ASF侵入防止緊急支援事業推進事業	自主	令和2年度に完了したASF侵入防止緊急支援事業について、管理状況の報告書等の作成を行う養豚経営体及び取組主体を支援するとともに、整備施設の処分期間中の利用状況及び書類の保管状況について調査を行う。

オ 家畜の衛生管理の強化

疾病の清浄化及び予防による畜産物の生産の安定を図ることを目的として、ワクチンの購入及び当協会指定獣医師による接種の推進、疾病発生時の対応等を円滑に行うための演習・研修の実施、農場HACCP認証、畜産GAPを普及するための調査・指導、野生獣の家畜に影響を及ぼす疾病の保有状況等についての調査、豚疾病防止のための獣医師による巡回指導、馬の飼養者等への衛生管理に関する調査・講習会、ハチミツの安全性確保のための検査等について支援します。

【実施予定事業数：10事業】

事業名	種別	事業内容
47 生産振興対策事業（優良はちみつ生産）	補助	ハチミツの品質検査に必要な経費の一部を補助する。
48 家畜防疫・衛生指導対策事業	助成	旧自衛防疫体制強化推進事業と旧農場HACCP取組体制緊急強化事業の合体新事業。防疫演習、牛伝染性リンパ腫対策、マイコプラズマ乳房炎対策、馬伝染性貧血対策を実施するとともに農場HACCPの推進を図る。
49 馬飼養衛生管理特別対策事業	助成	競走馬以外の馬の飼養衛生管理に関する知識や技術の普及啓発を行い、馬の飼養衛生管理体制の総合的な整備を図る。
50 馬伝染性疾病防疫推進対策事業	助成	乗用馬等の馬インフルエンザワクチンおよび馬鼻肺炎ワクチン接種の推進を行う。
51 育成馬等予防接種推進事業	助成	生産地における競走馬防疫体制を推進することにより、競走馬資源のかん養と競走馬生産の安定的維持・発展を図る。
52 農場飼養衛生管理強化推進事業	自主	国補助事業・家畜生産農場衛生対策事業に該当しない農場指導に限り補助を行う。
53 家畜衛生推進事業	自主	各地域の自衛防疫団体や公共牧場で実施する予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い等の事務を実施する。
54 地域豚疾病低減対策強化事業	受託	養豚農場の衛生管理を徹底し、生産性を著しく阻害する疾病（PRRS）の発生低減・排除に取組む対策を計画立案し、指導獣医師による農場指導および検査の推進を実施する
55 野生獣衛生推進体制促進事業	助成	家畜衛生関係者を中心とした野生獣被害の情報発信体制を構築、主にシカについての衛生実態を把握し、畜産農家等の飼養衛生管理に対する意識の向上を図り、野生獣衛生対策の推進に取り組む。
56 畜産GAP推進事業	自主	畜産GAPの普及を図るため、研修会の開催、認証に取り組む農場の構築指導を実施する。

（４）家畜の能力向上を促進する事業

家畜の生産能力は、個体が持って生まれた性質（遺伝）と飼養される環境条件によって影響を受けることから、家畜が快適に生活できる場を整えるとともに、飼養している家畜の平均能力を遺伝的に引き上げる必要があります。

そのため、当協会は家畜の遺伝的な能力と大きな関連がある体型等を中心とした評価に技術と経験を持った職員を配置し、県域を対象とした家畜共進会の開催及び地域における家畜共進会への開催支援、能力向上に必要な家畜の体型や産肉能力データの収集等を実施します。

【実施予定事業数：20事業】

	事業名	種別	事業内容
57	肉用牛経営安定対策補完事業	補助	地域の中核駅担い手が計画的に優良繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じて奨励金を交付する。
58	生産振興対策事業（家畜登録促進）	補助	家畜の血統整理や登録・登記を推進するため、有資格者の養成、研修会等への派遣を実施する。
59	生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（乳牛の部）	補助	群馬県乳牛共進会などを開催し、県内乳牛の改良を促進して振興を図る。
60	生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（繁殖と牛の部）	補助	群馬県繁殖と牛共進会などを開催し、県内肉用牛の改良を促進して振興を図る。
61	生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（山羊の部）	補助	群馬県山羊共進会を開催するなど、県内山羊・めん羊の改良を促進して振興を図る。
62	生産振興対策事業（全国和牛能力共進会出品対策）	補助	第12回全国和牛能力共進会における上位入賞を果たすための出品対策を実施する。
63	生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（関東地区ホルスタイン共進会）	補助	本県からの関東地区ホルスタイン共進会への出品を図り、もって乳牛の改良、振興を図る。
64	和牛全共出品対策事業	特別	第12回全国和牛能力共進会の出品対策のための調査、指導を実施する。
65	育種価評価活用促進事業	特別	県内で肥育された肉牛の産肉データ6形質を収集して育種価を解析し、広く公表することにより県内産肉牛の能力向上を図る。更にその結果を解説する研修会を開催する。
66	ゲノミック評価活用推進事業	特別	ゲノミック評価を活用し、早期に繁殖雌牛候補の能力を把握し、雌牛の選抜や保留の判断材料の一つとすることで、着実に高能力雌牛を県内に保留できるため、ゲノミック評価申込み雌牛に対し助成する。
67	家畜共進会運営強化推進事業	特別	地域で行う家畜共進会の実施に必要な費用の一部を助成する。
68	和牛高等登録推進事業	特別	和牛の高等登録受審を推進し、和牛改良の促進を図る。
69	肉用牛産肉能力平準化促進事業	受託	肉用牛の調整交配及びその結果の調査とりまとめを実施する。
70	乳牛生産活用支援事業	自主	乳牛の生産振興及び活用支援のため、県内乳牛生産者を対象として開催する共進会等を支援する。

	事業名	種別	事業内容
71	和牛生産活用支援事業	自主	和牛の生産振興及び活用支援のため、県内和牛生産者を対象として開催する共進会等を支援する。
72	肉豚生産活用支援事業	自主	肉豚の生産振興及び活用支援のため、県内養豚生産者を対象として生産豚の肉質調査等を支援する。
73	山羊生産活用支援事業	自主	日本ザーネン種山羊の普及、活用を推進するための情報交換会を開催する。
74	家畜共進会褒賞交付事業	自主	地区及び地域で実施する畜産共進会の予選会上位入賞者に対し、褒賞を授与する。
75	農林水産祭参加事業	自主	本会が開催する乳牛共進会、繁殖と牛共進会について、農林水産祭に参加する。
76	生産基盤拡大加速化事業	受託	需要拡大に対応する生産基盤の強化を図るため、繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じて奨励金を交付する。

【収益事業1】畜産に関する収益事業

（１）家畜登録団体からの業務受託に関する事業

家畜の血統登録を行う団体から業務の一部を受託し、畜種ごとに定められた登録規程等に基づき、登録申し込みのあった家畜の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の業務を行います。

【実施予定事業数：6事業】

	事業名	種別	事業内容
77 ～ 82	家畜登録事業	登録	登録申し込みのあった家畜（乳牛、肉牛、豚、山羊）の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の事務を実施する。 （4畜種、6事業） ①乳牛・ホルスタイン ②乳牛・ジャージー ③和牛 ④和牛・家畜改良事業団 ⑤種豚 ⑥山羊・緬羊

【その他の事業1】畜産の振興を図る事業

（１）畜産団体からの事務受託等に関する事業

畜産生産者等を構成員とする団体の事務を行います。

【実施予定事業数：8事業】

事業名	種別	事業内容
団体事務受託事業	団体	群馬県乳牛改良協会 群馬県和牛改良組合連絡協議会 群馬県養豚協会 群馬県養鶏協会 群馬県種鶏ふ卵協会 群馬県養蜂協会 群馬県家畜人工授精師協会 群馬県畜産技術連盟

(2) その他事業
「廃棄物の処理と清掃に関する法律」に基づく家畜の死体処理に必要な産業廃棄物管理票（マニフェスト）の販売、畜産に関する情報提供、畜産に関する印刷物の販売等、本会が実施する事業に付随する畜産の振興を図るための事業を行います。

令和3年度収支予算

1 概要

令和3年度は、補助事業：22事業、助成事業：6事業、特別事業：6事業、受託事業：16事業、家畜登録事業：6事業、生産者事務受託団体からの事務委託を含めた事務受託事業：9事業、自主財源による事業：25事業の計90事業を実施し経常収益807,692千円、経常費用807,432千円、法人税、事業税等を含めた当期一般正味財産増減額は640千円の減少を想定しています。

また、令和2年度予算と比べて、牛マルキン交付金が大きく減額すると考えられることから、経常収益で3,071,999千円の減少、経常費用で3,065,680千円の減少となります。

各会計の一般正味財産額の増減状況については以下のとおりです。

2 各会計の状況

(1) 公益目的事業会計

公益目的事業の主な財源は、会費の2分の1相当額、交付金、補助金、助成金、受託金、補助事業等の実施に必要な費用をまかなうための事業手数料等ですが、令和3年度においては、経常収益712,422千円、経常費用728,145千円で、当期経常増減額は15,723千円の減を見込んでいます。

令和2年度補正予算と比較して、経常収益、経常費用のいずれも大きく減少となりますが、その主な理由はアフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業、優良肉用子牛生産推進緊急対策事業等の緊急支援事業の終了と、牛マルキンにおける交付金、生産基盤拡大加速化事業における受託金の減額によるものです。

当事業会計へは、収支相償に基づき、畜産収益事業等会計から収益金の約1／2である9,223千円を振替えることで、最終的な公益目的事業会計の当期一般正味財産増減額は6,500千円の減となる見込みです。

(2) 収益事業等会計

収益事業等の財源には、主に家畜登録事業を行う家畜収益事業と、業務受託及び事務受託等を行う畜産振興事業により得られる収入が計上されますが、令和3年度においては、経常収益87,576千円、経常費用71,660千円で、当期経常増減額は15,916千円の増を見込みます。

なお、畜産収益事業等会計から公益目的事業会計に9,223千円を振替える結果、収益事業等会計の当期一般正味財産増減額は5,792千円の増となる見込みです。

(3) 法人会計

法人会計は会費の2分の1相当額を財源とし、本会の会務に使用する会計です。令和3年度においては、経常収益7,693千円、経常費用7,626千円で、当期一般正味財産増減額は66千円の増を見込みます。



家畜防疫互助基金支援事業にご参加ください

令和3年4月1日から牛と豚を対象とした家畜防疫互助基金支援事業が新しく始まります。参加申し込み期限は令和3年3月31日までですが、新たに畜産業を始めた方は途中からの参加も可能となっておりますので、是非とも周知をお願いいたします。

事業の内容

家畜防疫互助基金支援事業は、口蹄疫や豚熱等が発生した場合に、畜産経営への影響を緩和するため、生産者自らが積み立てを行い、口蹄疫や豚熱等の発生農場が経営再開までに必要な経費等を相互に支援する仕組みに国が補助する事業です。

事業のポイント

■牛・豚を飼育する生産者の方は、どなたでも参加できます。

ただし、契約締結時点で家畜伝染病予防法に基づき、移動制限等が実施されている区域の生産者は加入できません。

■この事業の対象となる家畜伝染病は、口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚熱、及び豚熱の5疾病です。

■生産者の方には契約頭数に別に定められた1頭当たりの単価を乗じた額を生産者積立金としてあらかじめ負担していただき、家畜伝染病予防法に基づき殺処分した家畜を飼育していた事業参加者に対し互助金を交付します。

令和元年度畜産海外事情研修（EU3 各国）に参加して ⑤

企画管理部長 加藤康義

前回に引き続き、（公社）中央畜産会が実施した畜産海外事情研修（EU3 各国）に参加した本会職員の寄稿を掲載します。



令和元年9月26日の夜、われわれはドイツ連邦共和国のやや南西に位置するバーデン＝ヴュルテンベルク州にあるシュウエービッシュ＝ハルに入りました。

この地域は、ハムやソーセージに用いる豚の生産が盛んな地域です。1815年に発生したインドネシア火山の噴火による灰の雨により農業が大打撃を受ける中、養豚に地域農業の復興を託し、自ら、中国の梅山豚を輸入し、ドイツ在来種と交配して、この地の名前と同じ「シュウエービッシュ＝ハル種」という大きな黒斑のある豚を作りだしました。この「シュウエービッシュ＝ハル種」は強健で管理しやすい反面、背脂肪が厚いため、消費者志向に合わず、1900年代には姿を消してしまいました。

しかし、歴史のある「シュウエービッシュ＝ハル種」を用い、再度、地域畜産業の復活を図ったのがルドエルフ・デューラー氏でした。



ルドエルフ・デュラー氏

他の生産者との差別化を理由に、遺伝子組み換え飼料や抗生剤を使わず、現代の多頭飼育による大量生産を行わず、希少性を狙い、ドイツ人の志向に合うよう、社会貢献度、味に重きを置く生産を目指したそうです。

ルドエルフ氏は、1988年に生産者8戸で農業生産共同体（協同組合）を組織し、「シュウェービッシュ＝ハル種」の復活に取り組みます。



シュウェービッシュ＝ハル種

10年間ほど会員は400戸程度で推移しましたが、市がと畜場を手放したことに伴い、自らでと畜から販売までカバーする体制を確保し、肉をブロックで販売することで、収益が増加し、会員が増加していったようです。現在は約1500戸から構成される組合となりました。

生産される肉やソーセージは、付加価値を高めるため、地域的表示認証や有機認証も取得しています。また、流通や販売方法にも工夫がありました。ディスカウントスーパーなどには卸さず、付加価値が評価されるホテル、レストラン、企業の社員食堂、高級デパートに限定していました。また、組合直営のスーパーとレストランを農村に数多く作り、それを求める人が農村に来て購買するサイクルを作り出しています。



ハル種の肉 背脂肪が厚いのが特徴

また、食料品は日曜日に販売できないことになっているドイツで、ガソリンスタンドを併設することで日曜日も開店できるようにしていました。

このほかに、会員に対するコンサルティング事業も行っています。この事業は多岐にわたっており、豚舎の建設から、経営、繁殖や飼養管理技術、改良血統登録、加工製造、地域のイベント対応、各種認証制度にまで及びます。併せて、この組合では、自ら有機認証事業も行っていました。



会員に経営コンサルティングを行う職員（左）



スパイスの倉庫内の様子

また、ソーセージに欠かせないスパイスについても、天然香辛料だけで作るために、自社のソーセージに最も合うスパイスを生産するインドに、ドイツでの有機認証が取得できるよう、生産から認証技術を提供し、インドで生産された30種類の香辛料を直接輸入していました。



キルヒベルク城の城壁

宿泊してもらい「シュウェービッシュ＝ハル種」の料理を振る舞う。お城のホテルの希少性と、お城を維持することで地域貢献にも一役買っているようでした。

我々もこのキルヒベルク城に宿泊させていただきましたが、独特の城内の雰囲気は、お好きな方には何物にも代えがたい宿泊経験となりそうでした。改装されていましたが、出来るだけ、当時のままを維持しようと、客室以外は手を付けないようにされているようでした。個人的には、少々怖い感じが否めませんでした。

8戸で始まった組合が30年あまりで、地域伝統の豚の復活と精算、食肉の加工販売、経営コンサル、認証、香辛料生産販売、お城の経営までを実施する1500戸を超える巨大な組織に成長してきた原動力は何であったのでしょうか。

たぶん、ドイツの消費者の購入志向をマーケティングからの確に捉え、生産量や売り上げに執念することなく地域貢献を重視し、希少性と差別化から他に類を見ない価値観を作り上げようしてきた努力であったように思います。

我々は、シュウェービッシュ＝ハルを離れ、日本では「酪農教育ファーム」に位置づけられる酪農家（カールスホフ牧場）を訪問しました。つづく



そして、「ヒトを農村に呼び込む」工夫として、最大はお城（キルヒベルク城）の経営です。日本ではお城に居住するという感覚はありませんが、ドイツではお城に住まうことができます。一部居住しているお城を全部買い上げ、ホテルとして経営に乗り出していました。

価格安定事業の状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分				平均売買価格(円)					交付単価(円)				交付額(円)				
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑
7	1	1 ～ 3	第4四半期	718,900	583,500	243,900	249,100	425,400	0	0	75,190	0	0	0	0	0	0
		4 ～ 6	第1四半期	620,700	557,500	-	238,200	340,500	0	0	-	0	0	0	0	0	0
		7 ～ 9	第2四半期	654,800	567,400	-	241,000	332,000	0	0	-	0	0	0	0	0	0
		10 ～ 12	第3四半期	740,100	690,300	-	256,400	389,700	0	0	-	0	0	0	0	0	0
	計			※他肉（その他肉専用種）はR2年度より算定期間が1年（4月～3月）となりました。										0	0	0	0

◆肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）補填金交付状況

期間	品種区分	納付区分	支払区分	交付対象		交付金単価 (頭/円)	交付金の額			交付日
				人数 (人)	頭数 (頭)		(円) (4/4)	交付金として 支払う額(3/4)	積立金から 支払われる額(1/4)	
10月期	肉専用種	猶予	概算払	79	998	51,671.3	51,567,917	38,675,903	12,892,014	12月24日 2月24日
			精算払			4,000.0	3,992,000	2,994,000	998,000	
			計				55,559,917	41,669,903	13,890,014	
	交雑種	通常	概算払	81	104	127,468.4	13,256,709	9,942,529	3,314,180	
			精算払			4,000.0	416,000	312,000	104,000	
			計				13,672,709	10,254,529	3,418,180	
		猶予	概算払		965	127,468.4	123,006,976	92,255,207	30,751,769	
			精算払			4,000.0	3,860,000	2,895,000	965,000	
			計				126,866,976	95,150,207	31,716,769	
	乳用種	通常	概算払	6	3	33,969.2	101,908	76,431	25,477	
			精算払			4,000.0	12,000	9,000	3,000	
			計				113,908	85,431	28,477	
		猶予	概算払		60	33,969.2	2,038,150	1,528,609	509,541	
			精算払			4,000.0	240,000	180,000	60,000	
			計				2,278,150	1,708,609	569,541	
11月期	交雑種	通常	概算払	97	97	75,365.6	7,310,456	5,482,837	1,827,619	1月27日 2月24日
			精算払			4,000.0	388,000	291,000	97,000	
			計				7,698,456	5,773,837	1,924,619	
		猶予	概算払		1,077	75,365.6	81,168,716	60,876,507	20,292,209	
			精算払			4,000.0	4,308,000	3,231,000	1,077,000	
			計				85,476,716	64,107,507	21,369,209	
	乳用種	通常	概算払	9	4	34,144.7	136,579	102,434	34,145	
			精算払			4,000.0	16,000	12,000	4,000	
			計				152,579	114,434	38,145	
		猶予	概算払		80	34,144.7	2,731,572	2,048,676	682,896	
			精算払			4,000.0	320,000	240,000	80,000	
			計				3,051,572	2,288,676	762,896	
12月期	交雑種	通常	概算払	90	26		0			2月24日
			精算払			29,124.9	757,246	567,932	189,314	
			計				757,246	567,932	189,314	
		猶予	概算払		1,210		0			
			精算払			29,124.9	35,241,081	26,430,777	8,810,304	
			計				35,241,081	26,430,777	8,810,304	
	乳用種	猶予	概算払	9	62		0			
			精算払			38,791.8	2,405,087	1,803,812	601,275	
			計				2,405,087	1,803,812	601,275	
1月期	交雑種	通常	概算払	75	4	19,405.4	77,621	58,215	19,406	3月29日
			精算払				0			
			計				77,621	58,215	19,406	
		猶予	概算払		747	19,405.4	14,495,804	10,871,826	3,623,978	
			精算払				0			
			計				14,495,804	10,871,826	3,623,978	
	乳用種	猶予	概算払	7	99		3,955,908	2,966,928	988,980	
			精算払				0			
			計				3,955,908	2,966,928	988,980	

※負担金納付猶予牛は交付金額より積立金拠出分を負担金として相殺して徴収した金額(4分の3相当額)を交付しています。

◆優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 奨励金交付状況

品種区分	発動基準価格(B)	全国平均価格		奨励金交付頭数・金額	
		12月	1月	12月	1月
黒毛和種	570,000	793,260	770,130	—	—
褐毛和種	530,000	749,238	736,348	—	—
その他肉専用種※	340,000	298,778	298,100	0頭 0円	0頭 0円
乳用種	170,000	260,944	256,219	—	—
交雑種	290,000	420,512	424,038	—	—

※その他の肉専用種の全国平均価格は5月からの合計額で計算

◆肥育牛経営緊急支援特別対策事業（肥育生産支援） 奨励金交付状況

品種区分	期間	奨励金単価	販売頭数*	金額
全品種	10～12月販売分	1頭 20,000円	6,994頭	139,880,000円

※牛マルキン対象牛のみ交付

みんなで行こう！ケイバ！ 南関東4競馬場開催日程

◆BAOO高崎

群馬県高崎市岩押町 12 - 23

お問合せ：027-322-5192



◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074

伊勢崎オートレース場

グリーンスタンド4階・5階

お問合せ：0270-23-0535

**地方競馬の収益金は
畜産の振興に役立っています**

オートレース場内のモニターで
ゆったりと競馬を楽しめます

地方競馬 場外発売日程

※新型コロナウイルスの影響で開催していない事もあります。直接ご確認ください。

2021年 4月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
 浦和	 浦和			 船橋	 船橋	 船橋	 船橋	 船橋			 大井	 大井	 大井	 大井	 大井			 川崎	 川崎	 川崎	 川崎	 川崎			 大井	 大井	 大井	 大井	 大井		
						Jpn III	S II					S III	Jpn III							S III							S I	S I			

2021年 5月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
 大井			 船橋	 船橋	 船橋	 船橋			 浦和	 浦和	 浦和	 浦和	 浦和			 大井	 大井	 大井	 大井	 大井			 川崎	 川崎	 川崎	 川崎	 川崎			 浦和	
			S III	S II	Jpn I						S III							S I							S III						

2021年 6月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
 浦和	 浦和	 浦和	 浦和			 大井	 大井	 大井	 大井	 大井			 川崎	 川崎	 川崎	 川崎	 川崎			 船橋	 船橋	 船橋	 船橋	 船橋			 浦和	 大井	 大井		
		Jpn II						S I						S III	Jpn II													S II	Jpn I		
																											 大井				

詳しくは南関東4競馬サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください。